

署名人口の15%突破

愛知阿久比で町民の集い



2000万署名の推進を交流した集い＝7日、愛知県阿久比町

元町長など多彩に

広げよう
2000万署名

戦争法廃止の2000万署名の成功をめざす「阿久比（あくい）町民のつどい」が7日、愛知県阿久比町内で開かれ、元町長、県議、町議、元町議会議員、大学教授など幅広い町民約70人が参加しました。主催は阿久比町民の会。

司会の竹内強町議（共産党）が署名の取り組み状況を説明。「町民の会」の目標5000人超にたいし、7日までに4201人分（全人口15%）の署名が集まったことを報告

告しました。

元町長の石川桂氏（会共同代表）は、いままで多くの取り組みをしてきたが、集いにこれだけ多彩な人が集まったのは初めてではないかとし、「政党・団体・宗教の違いを超えて参加していることは2000万署名を成功させる上で本当に心強い」とあいさつ。署名を集める中で困難もあるが、この運動を通じて「戦争は二度とだめ」「憲法の平和主義を守ろう」という町民の自覚を高め、一歩ずつ確実にすすめていこうと呼びかけました。

うと思っても、その態勢がつかれないからだと訴えました。

新美氏は「改憲阻止のため与党に3分の2以上与えてはならない。戦争法廃止させるには野党が結集して過半数の議席が必要になる。2000万署名は、その最大の力になる。阿久比町で目標を超過達成して知多半島

全体を励まそう」などと訴えました。フロア発言も相次ぎました。河合洋介県議（民主）はこの問題では何党も関係ない。安保法は違憲。国民目線とかけ離れている政権は退場してほしい」と

のに、首相が憲法に反することをしてもおとがめ無しなのはおかしいと話し、会場を沸かせました。

主催者のまとめ発言を拍手で確認しました。「阿久比では目標5000人超まであと少しだが、全国で2000万達成するまで頑張ろう。主役はみなさん一人ひとりです」